

1 日 時

令和5年5月31日(火) 15:00~16:00

2 場 所

徳島県立阿南支援学校ひわさ分校 音楽室

3 会次第

1) 開会

2) 学校長挨拶

3) 委員自己紹介

4) 会長・副会長の選任

5) 会長挨拶

6) 協議題

○ひわさ分校の取組について

①昨年度の行事や学習活動をスライドで紹介

②今年度の重点課題について

③各学部・各課の重点目標及び活動計画について

(別紙「今年度の重点課題と重点目標」参照)

④今後のひわさ分校の取組について

①地域にひらかれた特別支援学校を目指すために

<委員の方からいただいた御意見等>

- ・保護者として、交流及び共同学習は地元の学校との交流、同年代の子との交流ができ、ありがたい。支援学校に入ったら地元の友だちと関わりが少なくなるが、交流をしたら「あそこ(ひわさ分校)に〇〇くんがいる」とわかってもらえる。災害等、何かあった時に助けてもらえることにもつながる。地元の交流を地域の先生の協力を得て続けてほしい。
- ・小学校に勤務していたときには、交流を楽しみにして毎年交流にいつている児童がいた。将来、福祉方面への進学や仕事に就きたいと思っている子どももいる。交流に参加することで、お互いの学びにつながっている。まわりの子を巻き込んで交流に参加する子もおり、支援者の道を選ぶきっかけにもなっている。
- ・地元の中学校の生徒が会社の工場の見学に毎年きている。見学場所が決まっているので見学が難しい生徒もいるかもしれないが、来てもらうことは可能である。
- ・地域でマルシェのようなことをするのであれば、そのときに地域の小中学校の児童生徒の作品販売も一緒にするなど、一つのことに向かって何かをするのはどうか。その方が交流が深まりやすい。
- ・イベントスペースで毎月イベントをしている。以前も、特別支援学校の生徒の作品を販売し、その売り上げを子ども食堂に還元した。販売を子どもにしてもらうこともできる。支援学校生徒の絵画の展示等にも使ってもらえればよい。その告知や宣伝はこちらできる。
- ・美波町はPRが上手である。町の観光イベントについて担当の部署と話し合っって参加する。学校が主催となるのではなく、美波町のイベントにひわさ分校が参加するのかどうか。

- ・薬王寺のお接待などは、回数を多くすればいい。ホームページの更新も周りに知ってもらうためには、最低月1回は更新する。業者に頼んでいるところもある。ホームページの内容が変わってないと、ホームページを見なくなる。
- ・ひわさ分校は通学手段として通学タクシーができてよかった。タクシーに乗せて行ってもらえるなら考えてみようかという方が少しずつ増えてきた。
- ・学校不適合(不登校)であれば、ひわさ分校に通えるといいと思う。しかし、知的障がいではない場合もあるので実際は難しい。
- ・ひわさ分校に行くことで就労に関してメリットがあることを保護者に伝えている。ひわさ分校のPRする内容の一つとして、授業でITCやタブレットを使う学習活動をアピールしてはどうか。高等部でICTを使ったレベルの高い学習をしていることを聞いたら、支援学校に抵抗がある人もびっくりする。支援学校の生徒は簡単な勉強や作業をしていると思われるが、個々に応じた学習をしていることを知ってもらえるようにしていく必要がある。
- ・居住地校交流をしていた生徒が地域の防災イベントに来ていて、小学校の時にはサポートが必要だったが、中学部の現在は自主的に準備や片付けなどの活動もできるように変わった。支援が手厚いのはありがたい。
- ・これまでのひわさ分校は通学手段がないことがデメリットだったが、タクシーができて解消された。学校見学に来たい人が増えている。あとは在籍人数を増やすことが課題として残る。
- ・ひわさ分校に来たら友だちが少ないということがデメリットであるが、友だちが少ない分、友だちと密に関わることができ、「親友ができた」と言っている生徒もいる。また、人数が少ないので、ビルメン検定に向けての学習などでは練習回数が多くとれたり、丁寧に教えてもらえたりするというメリットもある。
- ・地域の学校で適応できず、困っているケースがある。しかし、ひわさ分校には寄宿舍がない。隣の施設の利用の仕方など工夫がほしい。
- ・ICTに関して、ひわさ分校では高校生レベルの検定に合格している生徒もいる。そのことをホームページには公開していない。前回の学校運営協議会でご提案いただいたSNSの活用はまだ難しいが、ホームページを活用することはできる。
- ・ホームページに掲載する写真を子どもが撮るとおもしろい写真を撮る。ホームページに生徒投稿コーナーを作ってはどうか。生徒のアカウントを作って、ネットも社会なので人との関わりの場になる。コメント除外などは設定ができる。
- ・高校では学校紹介を生徒が作ることがある。ひわさ分校でも作ってみてはどうか。教員からの発信より、生徒が作ったものや発信したことの方が惹かれる。
- ・地域連携協議会にPRできるものを持って行く。活動場面の写真のスライドなどと見てもらって、ひわさ分校には障がいの重い子ばかりではないというアピールをしていく。

7) 連絡事項

○学校行事

【運動会】令和5年 9月23日(土)

【文化祭】令和5年11月11日(土)

8) 閉会

